

古保利小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			高月町西柳野 No.1				高月町熊野 No.2				高月町西阿閉 No.3			
月 日 時 刻			6月12日 9時10分				6月19日 9時30分				7月4日 13時30分			
天 気			晴れ				晴れ				晴れ			
水 温 (°C)			19.0 °C				22.0 °C				28.0°C			
気 温 (°C)			20.0 °C				29.0 °C				29.0°C			
川 幅 (m)			1.2 m				7.3 m				1.1 m			
河 川 名			余呉川支流(用水路)				余呉川				余呉川支流(用水路)			
生 物 を 採 取 し た 場 所			全面				全面				全面			
水 深 (cm)			31.0 cm				20.0 cm				15.0 cm			
流 速 (cm / s)			30.4 cm/s				47.5 cm/s				91.4 cm/s			
水 の よう す		指標生物												
I き れ い	1	カワゲラ類	○				○							
	2	ナカレビゲラ・ヤマトビゲラ クロツツビゲラ類					○							
	3	ヒラタゲロウ類												
	4	ブユ類												
	5	ヘビトンボ類	○								○			
	6	ガガンボ類					○				○			
	7	サワガニ												
I・II 共通	8	ウスムシ類					○				○			
	9	2以外のビゲラ類	○				●				●			
	10	3、14以外のカゲロウ類	○											
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類												
	12	ジミ類	●								●			
II・III 共通	13	カワニナ	●								○			
III よごれている	14	サホコカゲロウ												
	15	ヒル類	○				○				○			
	16	ミスムシ	○				○							
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ	○											
	20	イトミミズ類					○				○			
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	4	4	3	1	5	2	2	1	4	4	2	1
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)		2	1		1	1			1	2		
	合 計 (1欄+2欄)		4	6	4	1	6	3	2	1	5	6	2	1
	判定結果(合計が最も大きい区分)		II				I				II			

1. 調査活動を行う児童の実態

古保利小学校では、毎年、4年生がみずすまし調査隊となり、「総合的な学習の時間」に調査活動を行っています。今年度の4年生は、男子6名、女子8名、計14名です。水生生物調査をするにあたって、これまでに水生生物調査をしたことがあるか聞いてみると、全くないという児童がほとんどでした。しかし、地域の川で魚とりをして遊んでいる児童が多く、活動することに意欲的な児童がたくさんいました。

2. 調査活動を行う前に

4年生の1学期の「総合的な学習の時間」に、みずすまし調査隊としてどんなことがしたいか、話し合いました。児童の意見を聞くと、「自分の住んでいる地区の川にどんな生物がいるのか調べたい。」「去年の4年生が調べた川で調べたい。」という意見が出ました。これらの意見をもとに相談し、今年度も昨年度調査した川と同じ川で調査することにしました。

今年度調査する川は、

- ① 学校横用水路（余呉川支流（西柳野地点））
- ② 余呉川（熊野地点）
- ③ 余呉川支流（西阿閉地点）

とし、未経験者が多く、調査の仕方や道具の準備、調査のまとめ方を知らないことから、学校に近い場所から始めた方がよいと考え、調査する順番もこの通りとしました。

3. 第1回みずすまし調査

日時：6月12日 9:10～11:30
場所：学校横用水路（余呉川支流）
天気：晴れ

〈川の様子〉

農作業の時期で、水が多くにごっていました。水位は児童の膝くらいまでありました。水の流れはゆるやかでした。

〈調査の様子〉



用具の使い方や生き物の取り方などの説明を受けました。



川の中や川岸から、様々な生き物を採取しました。
小さな生き物を採取するのが難しかったです。



〈採取生物〉

調査票にある生物：カワゲラ類、ヘビトンボ類、トビケラ類、カゲロウ類、シジミ類、カワニナ、ヒル類、ミズムシ、赤いユスリカ

調査票にない生物：ヤゴ、ザリガニ、エビ類（マエビ、ヌマエビ）、コオイムシ（卵持ち）、オタマジャクシ、ドロガイ、トンガリササノハガイ、ヨシノボリ、タナゴ

〈調査まとめ〉

どの児童も講師の先生の説明をよく聞き、正しく道具を使い、水生生物をつかまえることができました。初めは嫌がっていた児童も、他の児童がしている様子を見て、少しずつ一緒に活動できるようになっていきました。講師の先生から「卵を背に乗せたコオイムシが採取できるのは珍しい」と聞き、児童はとても喜んでいました。初めての調査だったため慣れないこともあり、ひとつひとつの作業に時間がかかってしまい、観察・まとめの時間が十分に取れなかったのが残念でした。

4. 第2回みずすまし調査

日時：6月19日 9:30~11:30

場所：熊野（余呉川）

天気：晴れ

〈川の様子〉

余呉川は、前回の川に比べ、はるかに川幅が広がったです。川底には泥が多く、川べりはコンクリートで覆われています。また、川岸には、ヨシや草が生えていました。

〈調査の様子〉



川べりが急で、川底にある泥に足を取られ、調査しにくかったです。



川底の泥の中や、中州の草の中にも生物が見つけれられました。



採取した生物の名前や生態を教えてください、調査表にまとめました。

〈採取生物〉

調査票にある生物：カワゲラ類、ナガレトビケラ、ガガンボ類、プラナリア、トビケラ類、ヒル類、ミズムシ

調査票にない生物：アメリカザリガニ、エビ（ヌマエビ、スジエビ）、コオイムシ、ヤゴ、カワムツドンコ、マドジョウ、オタマジャクシ、ヨシノボリ、タナゴ、

〈調査まとめ〉

前回の調査でひと通りの経験ができ、見通しが持てたこともあり、1回目よりも積極的に取り組む児童の姿がありました。水位が低く、川幅が広がったので、調査がしやすいようでした。今回は魚類がたくさんとれました。調査票にはありませんが、児童は魚類をつかまえることにも意欲的でした。

5. 第3回みずすまし調査

日時：7月4日 13:30~15:30

場所：西阿閉（余呉川支流）

天気：晴れ

〈川の様子〉

水位は3回の調査のうち一番少なく、児童の足首ほどしかありませんでした。また、見た目はきれいで、流れの速い川でした。川べりは石積みやコンクリートによる埋め立てで、川底には砂や泥がありました。

〈調査の様子〉



これまでの経験から水草の中や川べりなどに目星をつけて、生物を探していました。



採取した生物を講師の先生に見せ、生物名を聞く児童もいました。



〈採取生物〉

調査票にある生物：ヘビトンボ類、ガガンボ類、プラナリア、トビケラ類、シジミ類、カワニナ、ヒル類、イトミミズ

調査票にない生物：ガムシ、（脱皮してすぐの）コオイムシ、マツモムシ、ヌマエビ、ドジョウ、タナゴ、ヨシノボリ、オタマジャクシ

〈調査まとめ〉

道具の使い方や調査票への書き方が定着してきて、活動がスムーズに進むようになってきました。しかし今回は川の流れが速く、前回、前々回のように上手く生物がとれず、苦勞している姿が見られました。また、前回、前々回と違う生物が多かったです。

6. 調査活動の感想

- ・バックネットうらの川で本当に水生生物はいるのかなと思いました。でも、ヤゴなどがとれたので、本当にいるんだなと思いました。ぼくはヤゴやカニはとれなくて、シジミやタニシしかとれなかったの、ヤゴをとっている人はすごいなと思いました。
- ・最初はザルでやってたけど、ぜんぜんとれなかったの、あみにかえたら、水の中に入れていだけで流れてきたエビやヒルがつかまえられました。
- ・わたしが最初にとったのは、何かのよう虫でした。コケがびっしりあったので、かくれ家になるのかなと思いました。
- ・最初の方にはドジョウがいたけれど、みんながジャブジャブ入っていったので、びっくりして逃げてしまいました。わたしはエビがたくさんとれました。その中には、たまごを持っているお母さんエビもいました。